

取扱注意

昭和41年度営農援助計画について

1. ボリビア国サンフアン移住地

昭和41年12月

海外移住事業団



RY

国際協力事業団

受入 月日	'84. 8. 21	702
登録No.	13332	81
		EM

## 目 次

### まえがき

本計画の考え方、樹て方 .....	1
自然、社会環境からみた現状と問題点及びその対策 .....	6
農作物、家畜別の現状と問題点及びその対策 .....	14
営農普及活動計画表（昭41年度分） .....	20
農場試験設計書（ ” ” ） .....	22

## 附 記

営農普及活動実施報告書（昭40年度分） .....	56
営農担当者の体制（ ” ” ） .....	58
普及活動上の反省と所感（ ” ” ） .....	59
営農普及担当区域略図（ ” ” ） .....	61
農場試験成績書（ ” ” ） .....	63
農場略図（ ” ” ） .....	71
展示、試作、種苗、飼料及び牧草圃設計書（昭40年度分） .....	74
サンフアン農場の主な試験成績 .....	80
現在農場で栽培されている作物 .....	84
諸作物導入の実績 .....	91

JICA LIBRARY



1054386[6]

## ま え が き

この計画書は当団サンタクルス支部より営農関係報告書として、報告あつたものを取りまとめたものである。

従来、移住地の現況をあらゆる観点からつぶさに調査し、そのうちの問題点を摘出した上、どのような対策を計るかという検討に欠けていたきらいがある。

その面では本計画書はどのような必要から、昭和41年度の普及活動や農場の作物試験活動がとりあげられたが一応うかがえる。

問題点としてとりあげる内容、対策の講じ方には当団営農指導のあり方、限界など考慮の上で検討されるべきものではあるが、こゝでは当面解決されなければならない課題をとりあげ、その具体的解決方法をあげたものである。

追つてパラグアイ、ブラジル、アルゼンチン等の主要移住地についてもこのような計画書をまとめてゆきたい。

営 農 課 長

以 上

従来、行われてきた営農普及、調査試験活動をふりかえつてみると、それぞれの担当者が現地で経験的に計画をたて実施してきたが、これが支部本部一環したものでないため、個人的ないしは支部限りの活動にとじまっているがごときに映り、それら活動がいかに努力して行つても、本部に、反映しにくく、そのため本部としての具体的推進、予算、人員の配置等に当つて種々困難な場合が多かつた。

これは、その計画実施に当つての一貫した体制が確立されていなかつたためもある。

こゝでまず、昭和41年度移住地営農援助計画としてサンタクルス支部より報告あつたものを中心に今後の具体的計画策定の方法を検討してみたい。

#### 1. 計画書の作成について

まず移住地が立脚している社会、自然条件をあらゆる分野から調査し事項ごとに整理する。(第1～第7表)

大別として自然、社会、家畜作物環境に分類し、それぞれを地形、地質、気温…、道路、交通、市場…、米、とうもろこし、肉牛…、等に細分し出来れば裏付け資料としてのデータを付す。

これら現状は営農援助対策上の基本資料となるので、十分吟味検討を加えておくこと。

次に既入植地であれば一応の目やすとされている営農計画に対し、それが遂行にあつて、どのような阻害要因があるか検討、摘出する。

この問題点も、往々にして個人的な見解におち入り易いので支部単位の意見調整を計つて記載する。

この問題点を解決するためには、改善対策としてあらゆる方法が考えられるが、事業団、相手団、事業団以外の組織等、解決にあたる組織(又は個人)には、かまわず出来るだけ詳細に列挙すること。(第1～第7表)

これを、直接当団の普及業務にて解決つくもの（普）  
ある程度の調査が行われて始めて普及活動にまわせるもの（調普）  
試験、試作を行なつてみないと普及活動にのせられないもの（試）  
資金的手あてがないと試験、調査を行つても実現出来ないもの（資）  
相手国又は当団以外の組織により解決が計れるもの（他）  
等に分類する。

これら分類にもとずき当面解決されなければならない事項を人員、予算等を考慮の上で選定し、普及指導事項を選び当該年度で到達せしめたい目標を設定する。（第8表）

又試験場で分担する事項も第1表～第7表から生じてくるが当面解決されなければならない事項につき、人員予算の範囲内で第9～24表のように設計書をつくる。

この設計書には、試験の目的、試験方法、供試品種等を明確にするほか、受入国において該当試験事項をどの程度把握しているかを記載する。

このためには、前もつて相手国の試験研究機関の実施してきた研究成果又現状等を知つておく必要がある。

これら作業により現状の把握、問題点の摘出、対策の樹立、普及活動計画、農場試験計画等が関連してたてられる。

## 2. 実績のまとめ及び報告について

次に付記にあるとおり、年度末に（ないしは年2回）実績を整理しまとめてみる必要がある。

### (1) 普及活動について

イ どのような陣容でその解決にあたつたか

それら陣容の普及活動経験年数、どの位の担当農家を受持つたか、又摘要にはその普及員の年間業務量を仕事別におよその割合いで記しておく。

これにより普及員がどの程度普及業務に従事したか、他の業務をどの程度兼任せざるを得なかつたかが分る。(第27表参考)

ロ 次に普及活動実施状況は当初目標としていたものがどの程度達成出来たか、達成出来なかつた場合にはその要因を中心に、普及活動の方法対象グループ等あわせて整理する。(第26表)

ハ 普及活動を実施した区域の略図を畫く。これはおよその距離感がつかめるような図が好ましい。(様式6)

ニ 最後に普及活動を実施してきた経過をふりかえつて、その反省と今後の活動の方向を簡単にとりまとめる。

(2) 試験栽培について

イ 試験成績のまとめ

設計書にもとづき、試験対象作物別(家畜別)に所要期間観察を行ない、観察の記録を日々記録しておき最終的にこれをまとめ成績書を作成する。

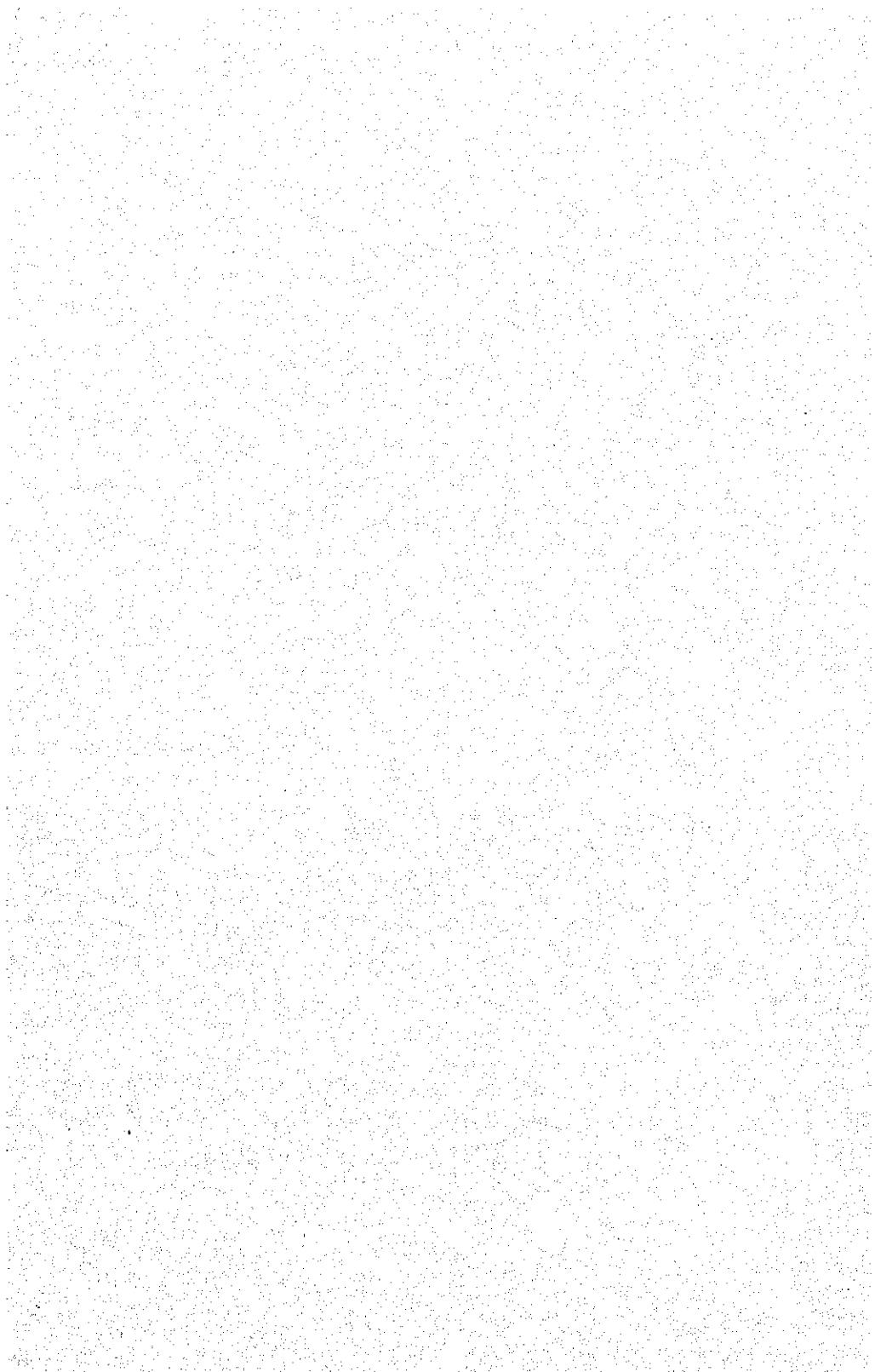
成績書には試験の目的方法(試験内容によりとりあげる事項はかわつてくるので必ずしも様式9にこだわる必要はない)を設計書とダブつているところもあるが記載し、次に所要期間観察した結果を当該期間の気象概況とてらし合わせ生育状況をまとめる。

その結果、観察調査による生育、収量、労力調査等に関連してまとめ所見をだし考察とする。

結論ともなるべき摘要、又試験過程における問題点と反省、当該期間における気象表、試験担当者名及び他の機関と協力して行つたものであればその概要を記載する。(様式第9表)

その他園場配置計画、展示、増殖計画もあわせて作成しておく。  
(MW001様式10.11)





自然、社会、環境からみた

ボリビヤ国サンファン移住地

部 門		現 状	問 題 点
自 然	土 地 形	ヤパカニ河に沿った平坦な沖積地であり、地区内に河川はあまり発達していない。	平坦な地形であるため雨期に停滞水による湿害がある。
	地 地 質	砂土、植土、砂壤土、粘質壤土の地区が入りまじっている。	砂質地は消耗が速い。
環 境	気 気 温	夏季の12～2月は26℃ 冬季6～8月は20℃年平均気温24.1℃である。 冬季には乾燥した南風が吹き50℃位に降ることがある。	永年作物は乾期に干害を受ける。
	象 雨 量	年雨量は2000mm程度である。夏季は雨期、冬期は乾期にあたり雨期は月280mm乾期は70mm程度である。	
境 用 水	灌漑用水	地区内に河川が発達しておらず、湖沼というものが無い。	冬季農作或は水田二毛作の場合は水不足となる。
	飲雑用水	地下水位が高いので簡単な浅井戸で足りる。然し雨期には水位が更に高くなり地表水の流入する場合がある。	浅井戸に雨期に地表水が流入することによる衛生上の問題あり。

第1表

現状と問題点及びその対策

対 策	対 策 の 性 格				
	普	調 普	試	資	他
1. 特別対策として幹線及び支線排水路工事が進められているが、個人でもこの線に連絡する排水路を設けることを計る。 2. 地方維持のための緑肥作物の導入を計る。 3. 排水不良地の利用及びそこでの適作物の選定を進める。	○		○	○	
乾期に敷草を行なつて土壌の乾燥を防止する。	○				
1. 掘抜井戸の設置により、小面積であれば灌漑水の問題も浅井戸の衛生上の問題も解決される。				○	

部 門		現 状	問 題 点
	周辺植生	周辺は高さ20m以上に達する巨木の林立する原始林で湿地性植物が多い。	特になし
	災 害	大きな風水害はないが、雨期に排水不良による停滞水のためミス、マンジョカ等は根ぐされを生じる地帯が多い。	排水不良による湿害がある。
社 会 経 済 環 境	交 道 路	地区内道路は雨期には排水不良のため交通朴絶の状況になることもあつたがサンファン特別対策の実施による道路工事の進捗に伴つて昔日の面影は一新されつつある。 又移住地入口からサンタクルスに至る道路の内、未舗装であつた入口からモンラー口間の舗装も完了が間近かであつて道路条件は急速に改善されつつある。	道路の維持管理がなおざりになり勝ちである。
	交 通	移住地入口からサンタクルス市間には乗合バスが1日3往復し、その内1回は移住地の中央部まで乗入れている。地区内にはバス等の運行はない。	地区内に交通機関がないことは不便である。
	流 通	農協委託又は個人取引が行なわれている。米の農協委託の場合は、大食糧品店或は大口消費者へ個人取引	組合意識が低く共販体制がとりにくい。

対 策	対 策 の 性 格				
	普	調 普	試	資	他
1.地形の頂と同じく、個人の畑においても排水溝造成の要あり。				○	
1.道路委員会又は地区別に区内道路の維持を計り、完全管理を行なう。	○				○
1.村或いは組合等運営による乗合バスを運行させる。				○	
1.組合に対する啓蒙の強化 2.組合運営の合理化と実力の養成 3.集荷量の増大確保	○				○

第5表

部 門	現 状	問 題 点	対 策	対 策 の 性 格					
				普	調 普	試	資	他	
社 会 経 済 環 境	流 通	流 通	の場合は庭先で、トラック 集売業者によりサンタクル ス市、ラパス市等へ。 米以外のもの及び畜産物は 主として庭先で仲買人へ。 又はサンタクルス市の業者 と直接取引き。						
		市 場	殆んどサンタクルス、ラパ ス市に限られる国内市場	市場が狭隘であることは大 きな問題点である。	1. 国際市場を把握し、国際商品 として有利なものを開拓する。 2. 国内市場の拡大を計る。			○	○
		加工、企業	開発会社による豚加工場が モンテローロ市に建設された が未操業である。	移住地の農畜産振興を阻む ものの一つは加工企業のない ことで、ジユート、養豚 その他しかりで、生産に限 界を生じてしまう。	1. 加工企業の誘致 2. 各種農産物の増産を計る。			○	○
	其 他	雇用労力	附近の部落或は山手方面か らの出稼ぎが主であるが、 近年その数が減少しつつあ る。	雇用労力の不足が深刻化し つつある。	1. 機械化農業の体系化。 2. その具体的導入			○	○
		現地技術 機関	約40 Kmの所にあるブエナ グスタには農業改良普及事 務所がありこゝには1名の 駐在員がいる。 約110 Kmの所にあるサー ベトラには国立農事試験場 がある。	現地普及員の配置は極めて 少ないこと。 現地農事試験場は極めて遠 距離にあるため(約110 Km) 利用に不便。 自然条件が現地試験場のあ るところと異なること。 研究テーマが日本的集約農 向きなものを取りあげてな い。	1. 当団農場とボ国試験場との提 携試験の実施強化。 但し当団農場の自主性は諸波 の事情から保つことは必要。			○	

第4表

部門	現 状	問 題 点	対 策	対 策 の 性 格						
				普	調 普	試	資	他		
そ の 他  生 活 環 境	現地技術指導機関	特に策定されたものはないが、政府として意を注いでいることは輸入の防圧であつて、そのためには主として加工産業の育成を目論んでいると見られる。 加工産業としては次のものがある。 1.製糖 2.製酪 3.紡績 4.製粉 5.米 6.食用油飼料 7.豚加工	これら産業施設は不十分ながら、おかれてはいるが、砂糖、小麦を除き、原料が不足のため十分な生産が行なわれていない。 砂糖の生産はあるが、流通が円滑でなくなかなか末端まで消費がゆきわたっていない。小麦はアメリカから時により安価で大量に入り、安定価格を崩してしまう。						○	
	現地普及機関と移住地との関係	前記農業改良普及事務所は試験農場と連携をとつているが、直接移住者とは交渉がない。	普及員は広範囲に1名の配置であり移住地では殆んどその恩恵を受けていない。又言葉の点もあり移住者は直接利益を受けられそうもない。	当団農場普及員の増強を計り、ボ国普及機関と連絡を保ち農場にて営農指導を行なつてゆく。	○				○	
	衣生活	文化から離れた僻地であり、温暖な気候でもあるから服装にはあまり経費はかゝらない。 特に入植年次の浅い者（入植3～4年）はまだ日本から特参した物を使つている。	特に問題なし							
	住生活	入植当時のモタク葺き仮住宅的なものが多い。	モタク葺きは耐用年数短かく火災のおそれがある。	1.レンガ建てに改めるよう勧告する。						○
食生活	米は殆んどのが自給し鶏は50羽程度なら放し飼いでかえ、バナナは放任栽培でも収穫があるから養殖しない限り不安はない。	食生活が単調になりやすく又栄養が偏しやすい。	料理講習会を行ない、食べ易い高カロリーの栄養の偏しない食物のつくり方を指導する。	○					○	

農作物・家畜別の現状と問題点及びその対策

ボリビア国サンフアン移住地

部 門	現 状	問 題 点	対 策	対 策 の 性 格					
				普	調普	試	資	他	
主 要 作 物	米	移住地営農上の主軸であつて、作付面積約2000ha 米の品種は多数あるから現在の品種で足りると言えない。 特に最近水田造成の気運が興つている。	米は投機的な大面積栽培を行う者がある。現導入の品種以外に優良品種があるかも知れないが現在不明であるし実証的裏付けは資料がない。	1.自己の経済力に応じた作付面積を行なうよう指導援助する。 2.当団農場で各種水稻品種をとりよせ、品種別比較試験を行なう必要がある。 3.水田造成パイロット農家の設置。	○		○		
	とりもろこし	米につぐ重要作物で作付面積は約400ha	マيس、まんじよかは家畜の飼料用であるが、頭羽枚に比し栽培面積が非常に少ない。 大豆は自家用、飼料用として極めて重要ではあるが、栽培面積が少ない。	1.米と並んでとりもろこし、まんじよか、大豆の自給化(飼料面もあわせて)を計る。 2.表作のほかに裏作に取入れることの奨励。	○				
	まんじよか	作付面積約20ha			○				
	大豆	作付面積約55ha							
物	柑 橘	Naranja 他作付面積約90ha	剪定、整枝が不十分である。	剪定、整枝の指導を計る。	○				
	バナナ	作付面積 約90ha	バナナは輸出に向く青果用優良種がない。	バナナの優良種を外国から導入する。			○		
検 討 作 物	七 島 蘭 (スムースカイエン)	需要のある敷物の材料として試作中	当地には、敷物の材料としての消費大。	試作し優良品種の選定を計る。 栽培の適否を知る。			○		
	パインアップル	無刺種スムースカイエンを試作中		パインアップルの開花期をホルモン処理によつて調節し、収穫期間を長くすることによつて販売を有利にする。			○		
	ジュート	殆んど栽培されていないが栽培は容易で需要はある。	繊維加工工場がない。特に乾燥皮のまま買取る工場があると良いが。	加工場特に乾燥皮のまし買取する工場の誘致。			○	○	

第6表

部 門	現 状	問 題 点	対 策	対 策 の 性 格					
				普	調普	試	資	他	
作 換 討 作 物 物	胡 椒	現況栽培は少ないが、食肉油原料として試作中		ビメンタの栽培適否を知る。			○		
	落花生	同上		多収で耐病性で含油量の多い品種を選定する。			○		
	ビメンタ	一般栽培はないが、当団農場で試作中。		ビメンタの栽培適否を知る。			○		
	コーヒ	栽培面積約10ha	剪定、整枝が不十分である。過湿の害がある。	更新剪定の指導、排水を図る。コーヒの1株当りの適植付本数を知る。	○		○		
	カカオ	栽培面積約10ha	天狗巣病の発生がある。寒冷の害がある。	抵抗性品種の導入を図り防風林の設置を検討する。					
	紅 茶	栽培面積約1ha							
	マカダミヤナツト	栽培はないが当団農場で試作中。	当地での栽培上の問題点、適、不適について知られていない。	栽培上の適否を知る。			○		
家 家 蓄 蓄	肉 牛	飼育頭数約120頭 セブの系統	優良牝牛が必要、防疫人工授精の施設及び売買の指導が必要。	1.優良種を導入する。 2.防疫人工授精を実施。			○		
	豚	飼育頭数約600頭 ポーランドチャイナの雑種が多い。	同上	同上			○		
	鶏	飼育羽数約20,000羽 ニューハンブシャーの退化種が多い。	優良な肉用種、卵用種が少ない。	優良種を導入し、原種の育成配布は試験農場で行なう。飼育方法の啓発を計る。	○		○		
	肥育牛	相当数の肥育牛を導入する希望が多い。	左の調査あつせんが満足に行われていない。	事業団と農協で肥育牛の導入の斡旋を行う。	○				
その他	牧 場	原始林、再生林を伐開して米又はマリスを作つた跡は放置して再生林となしている。	年改を経ても耕地又は牧場等の利用地が増加しないこと。	再生林化を防止して牧草を植える。	○				

第7表

部 門	現 状	問 題 点	対 策	対 策 の 性 格					
				普	調普	試	資	他	
そ の 他	牧 草	約100haの放牧場があるが牧草をつくっている面積は少ない。	雨季、乾燥のあるサンファンに適した牧草の導入が必要である。	当団農場で牧草の選抜試験を実施する。			○		
	肥 地	現在は殆んど作っていない。	地力の消耗、特に機械耕作の場合の地力維持を図る必要がある。	当団農場で優良種を選抜してその原種の配布を行なう。			○		
	機 械 化	原始林、再生林を伐開して焼き畑農業をくり返している。	永久耕作の造成がなく原始農法が行われている。	特別対策事業として機械利用組合にブルドーザ・トラクター各1台を無償貸与して耕地造成が行われている。			○	○	

(註)

1. 普 : 直接当団の普及業務にて解決のつくもの。
2. 調普 : 調査研究の結果解決がつけばすぐ普及にまわせるもの。
3. 試 : 当団或いは現地国試験場で試験を行わなければ普及にまわせないもの。
4. 資 : 試験、調査を行つても資金的手当ての方策を講じないと解決出来ないもの。
5. 他 : 相手国又は事業団以外の組織により解決が計られるべきのもの。



営農普及活動計画表

ボリビア国サンフアン移住地

月別	普及指導事項	到達目標
10	水田稲作について	水田稲作と陸稲栽培との優劣を実験的観察を行ない水稲の優秀性を知らしめ、水田造成の促進を計る。
11	日本の畜産について	日本における畜産近況の紹介。
11	牧草植付の促進	食肉の世界的消費増大にともない食肉牛飼養が各国において急速に進められている昨今、当地としても、畜産の導入は急務であり現状では1戸1頭にも満たない、牛の導入に先立ち牧草の植付けを指導する。
12		
1		
12	果樹栽培について	果樹の剪定、接木技術の体得。
12	肉牛の飼育について	特に防疫対策知識の向上
1	土壌管理について	土壌保全、地力維持知識の向上
2	牧草について	各種牧草の紹介その他
3	豚、鶏の飼育について	農場の飼育成績をもとに啓蒙
3	先進地見学	機械化農業、家畜について

推進方法							
対象地区又はグループ名	実施回数	普及の方法	実施場所	担当者	協力機関協力者	準備	備考
営農連絡会	1	講習会	当団農場	平野昇一		パンフレット	
"	1	"	"	瀬合義之	サンフアン農協		
全地区		個別指導	現場	平野昇一			
(対象農家) 30戸				瀬合義之			
営農連絡会	1	講習会	当団農場	平野昇一	コンプレホット ートシステム 技術者	パンフレット	
全地区	1	"	"				
営農連絡会	1	"	"	平野昇一		パンフレット	
"	1	"	"	瀬合義之		パンフレット	
"	1	"	"	"		パンフレット	
"	1	見学			サンフアン農協	トラック	

(註) 1. この計画のほか

- (1) 絶えず地区内を巡回して土壌保全、作物栽培、病虫害対策、家畜の飼養方法につき指導する。
- (2) づい時座談会が催されるが、これに出席する。
- (3) パンフレット(農薬の使い方、作物家畜の新品種紹介等)を出す。

農場試験設計書

サンタクルス支部サンファン農場

昭和41年度 No

試験名	遠播の品種試験	継続又は関連の場合前年度までに実施済の試験についての結果概要	日本種では「みなみはたもち」台中65号が収量多く、現地地ではCatetoとVenezuelaが大粒で収量も多い。		
試験の目的	多収良質で耐病性の品種を選出する。				
試験期間	試験期間 第1回 継続 第3年度				
試品種	Pratao Noventa dia Corolado, Noventa dia Blanco 農林11号 農林21号他合計26品種	受入国研究機関において本試験又は類似試験を実施したことの有無及びその結果の概要	Saavedra に在る農事試験場 Estacion Experimental Agricola de Los Ibanos の成績		
試験区面積及び区制	1区 1.1m×1m×3区×26=858m <sup>2</sup>		品 種 名	生育日数	ha 当収量
栽植方法	畦巾1m条播 播種10月		Durado	125	3,221Kg
管理方法	適宜除草 無肥料 病虫害は発生の都度駆除		418 S/N	118	2,985
収穫調整方法	株刈、日干	Bluebonnet	130	2,828	
調査事項及び方法	草丈 稈長 出穂始 出穂期 穂揃期 出穂日数 穂揃日数 成熟期 成熟日数 生育日数 全穂数 遅穂数 有効穂数 穂長 1穂総実粒数 出穂重 乾燥穂重 全粒重 精粒重 秕重 精粒重歩合 精粒1000粒重 芒の有無 芒の長短色 脱粒難易	Cola Cochi Chico	130	2,743	
		118 S/N	128	2,700	
		gran Carolina	130	2,697	
		Palo morado	125	2,599	
		Cola Cochi Grande	125	2,348	
		Cubano	130	2,347	
Yen-tu	110	2,164			
Go Dias Colorado	115	2,127			
Lacrosse	125	2,029			
90 Dias Blanco	115	1,986			
Amarelon	128	1,972			
Pratao	128	1,453			
3010 S/N	110	814			

試験名	水稻品種試験	継経又は関連の場合前年度までに実施済の試験についての結果概要	前年度予備試験の結果は台中65号が成績良く、現地種ではPrataoは草丈高くなり、生育日数も延びるが、他のものは丈が低くなる傾向あり、一般に茎は太くなる。 現地種ではCatetoが成績良好であった。
試験の目的	多収、良質で耐病性の品種を選出する。		
試験期間	試験期間 第1回 継続 第1年度	受入国研究機関において本試験又は類似試験を実施したことの有無及びその結果の概要	なし
供試品種	台中65号 奄美もち 善光寺もち Cateto Pratao Iuapé Carolina 加州米		
試験区面積及び区制	10m × 0.3 × 8 畝 × 5 列 = 120 m <sup>2</sup>		
栽植方法	0.30 × 0.24 m 1本植 挿秧 12月		
管理方法	除草1回 病虫害は発生の都度畝除する。		
収穫調整方法	株刈 日干		
調査事項及び方法	陸稲に同じ		

サンタクルス支部サンフアン農場

昭和41年度

試験名	大豆品種試験	経緯又は関連の場合前年度までに実施済の試験についての結果概要	夏作は柴斑病多く、冬作は収量が劣る。 両期作共サンフアン在米が生育収量共良好である。																																
試験の目的	多収、耐病性で含油量の多い品種を選出する。																																		
試験期間	試験期間 第1回 継続 第3年度																																		
供試品種	Avanga Mogiana Abura EngBrachal Pelicano Aragatuba Colmena Otoctan Iran Acadian Biloxi P-1-205-912 パラグワイ在米 サンフアン在米	受入国研究機関において本試験又は類似試験を実施したことの有無及びその結果の概要	Saavedra に在る農事試験場成績 <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>品種名</th> <th>生育日数</th> <th>粒色</th> <th>ha当収量</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>Otoctan</td> <td>116</td> <td>黒</td> <td>1,465</td> </tr> <tr> <td>Iran</td> <td>118</td> <td>黒</td> <td>1,298</td> </tr> <tr> <td>Acadian</td> <td>99</td> <td>黄</td> <td>1,062</td> </tr> <tr> <td>Biloxi</td> <td>107</td> <td>栗</td> <td>992</td> </tr> <tr> <td>P-1-205-912</td> <td>136</td> <td>黄</td> <td>829</td> </tr> <tr> <td>Abura</td> <td>108</td> <td>黄</td> <td>698</td> </tr> <tr> <td>Okinawa</td> <td>85</td> <td>黄</td> <td>337</td> </tr> </tbody> </table>	品種名	生育日数	粒色	ha当収量	Otoctan	116	黒	1,465	Iran	118	黒	1,298	Acadian	99	黄	1,062	Biloxi	107	栗	992	P-1-205-912	136	黄	829	Abura	108	黄	698	Okinawa	85	黄	337
品種名	生育日数			粒色	ha当収量																														
Otoctan	116			黒	1,465																														
Iran	118			黒	1,298																														
Acadian	99			黄	1,062																														
Biloxi	107			栗	992																														
P-1-205-912	136			黄	829																														
Abura	108			黄	698																														
Okinawa	85	黄	337																																
試験区面積及び区制	10m×0.6m×3列×14=252m <sup>2</sup>																																		
栽植方法	0.6m×0.3m 点播 1-2本立																																		
管理方法	適宜除草 培土																																		
収穫調整方法	抜取り 日干 叩いて脱粒																																		
調査事項及び方法	草丈 開花始 開花期 開花終 開花迄日数 成熟期 結実日数 生育日数 1株莢数 1株粒数 柴斑粒 鱗の色 花色 100粒重																																		

(注) Otoctan Iran P-1-205-912 は緑肥用

試験名	パインアップル収穫時期調節試験	継経又は関連の場合前年度までに実施済の試験についての結果概要	未収穫
試験の目的	パインアップルの開花期をホルモン処理によつて調節し、収穫期間を長くして販売を有利にする。		
試験期間	試験期間 3年 第1回 継続 第3年度		
供試品種	在来種	受入国研究機関において本試験又は類似試験を実施したことの有無及びその結果の概要	なし
試験区面積及び区制	アルファナフレタン醋酸ソーダ 50000倍 100000倍液を3月6日 3月25日 4月14日に注入別に对照区		
栽植方法	2列植 畦巾1.50m 列間休間各0.50m		
管理方法	適宜除草 無肥料		
収穫調整方法			
調査事項及び方法	開花期 収穫期 エイ芽数 冠芽重 果重 果汁のBrix 色味		

試験名	バナナ収穫期調節試験	経緯又は関連の場合前年度までに実施済の試験についての結果概要	未収穫
試験の目的	8-10月は料理バナナが高値であるので、この時期に出荷できるように植付及び苗立の時期の研究を行う。		
試験期間	試験期間 第1回 継続 第3年度		
供試品種	在来種	受入国研究機関において本試験又は類似試験を実施したことの有無及びその結果の概要	なし
試験区面積及び区制	3.5m×3.5m×5本×12月=735m <sup>2</sup>		
栽植方法	1本植 3.5m×3.5m 毎月中旬に定植する。		
管理方法	適宜除草		
収穫調整方法	収穫期は肉眼判定による。		
調整事項及び方法	花序抽出期、収穫期、全房重、果段数、果指数		

試 験 名	柑橘品種試験	継経又は関連の 場合前年度まで に実施済の試験 についての結果 概要	ボンカン、タンカン、晩白柚共、結実は良好であるが味が 淡白である。 晩白柚は殆んど年中結実している。	
試 験 の 目 的	優良な柑橘品種を選出する。			
試 験 期 間	試験期間 第1回 継続 第7年度			
供 試 品 種	ボンカン、タンカン、晩白柚、ラランジャ、パイヤ	受入国研究機関 において本試験 又は類似試験を 実施したことの 有無及びその結 果の概要	なし	
試 験 区 面 積 及 び 区 制	5m × 5m × 100 = 2500m <sup>2</sup>			
栽 植 方 法	5m × 5m			
管 理 方 法	適宜除草、施肥10月配合肥料1本当2.5kg 病虫害発生の都度駆除。			
収 穫 調 整 方 法				
調 査 事 項 及 び 方 法	収穫期、1本当果数及び果重、果実の品質調査			

サンタクルス支部サンフアン農場

試験名	コーヒー株当植付本数試験	経緯又は関連の場合前年度までに実施済の試験についての結果概要	定植4年で1株当約1kgの市場コーヒー収量があつたが、6年で収量激減した。肥料分の不足と見られる。
試験の目的	コーヒーの1株当適当な植付本数を知る。		
試験期間	試験期間 第1回 継続 第7年度		
供試品種	アラビア種 Mundo Nuevo	受入国研究機関において本試験又は類似試験を実施したことの有無及びその結果の概要	なし
試験区面積及び区制	1株 1~4本植の4区 4m×4m×200株		
栽植方法	4m×4m 1~4本植		
管理方法	適宜除草 8月施肥 1株当配合肥料0.5kg		
収穫調整方法	熟したものを摘み採つて日干する。 乾燥したものを臼又は穀摺りで脱殻する。		
調査事項及び方法	収穫期、生果重、乾果重、市場コーヒー重		



試験名	ビメンタ栽培試験	継続又は関連の場合前年度までに実施済の試験についての結果概要	定植1年半で多いものは黒胡椒2007の収穫があつた。
試験の目的	ビメンタの栽培適否を知る。		
試験期間	試験期間 第1回 継続 第3年度 ブラジルから導入のもの	受入国研究機関において本試験又は類似試験を実施したことの有無及びその結果の概要	なし
供試品種			
試験区面積及び区制	3.0m × 2.5m × 30 = 225m <sup>2</sup>		
栽植方法	支柱に登はんさせる。		
管理方法	適宜除草 鶏糞10kg 配合肥料 1kg施用		
収穫調整方法	房の1.2粒が着色した時収穫 熱湯に浸して日干 果房数、果房重、生粒重、乾粒重、品質		
調査事項及び方法			

試験名	胡麻品種試験	継続又は関連の場合前年度までに実施済の試験についての結果概要	平均草丈	123~174cm		
試験の目的	多収、耐病性で含油量の多い品種を選出する。		英数(1本)	60~142		
試験期間	試験期間 第1回 継続 第2年度 Tehuantepec 1, Venezuela 51, Regional	受入国研究機関において本試験又は類似試験を実施したことの有無及びその結果の概要	英の稜角数	4~ 8		
供試品種	Pachaqueno, Regional 105, Instituto #25, Instituto 104, Ciano 71, Inamor, 日本種		子実収量(1本)	6~ 2.38		
試験区面積及び区制	10m×0.75m×3×10種=225㎡	Saavedra に在る農事試験場の成績	品 種 名	草 丈	生育日数	ha 当収量
栽植方法	0.75m×0.25m 点播 播種10月		Tehuantepec II	1.55m	114	851kg
管理方法	適宜除草	" I	1.50	112	848	
収獲調整方法	刈刈 日干	Regional 105	1.50	104	764	
調査事項及び方法	草丈、英数、英の稜角数、成熟期、生育日数、子実の色収量	Morado	1.50	113	734	
		Regional pachaqueno	1.40	111	729	
		Instituto 104	1.45	107	701	
		Venezuela 51	1.60	105	698	
		Regional 12	1.43	113	608	

昭和41年度

試 験 場	落花生品種試験	継経又は関連の場合前年度までに実施済の試験についての結果概要	子実収量 1.4~3.6kg (15㎡当) 子実100粒重 44~87g 収量では Imperial white が最適 次いで Overo Criollo Rosado であつた。																																				
試験の目的	多収、耐病性で含油量の多い品種を選出する。																																						
試験期間	試験期間 第1回 継続 第2年度	受入国研究機関において本試験又は類似試験を実施したことの有無及びその結果の概要	Saavedra に在る農事試験場成績 <table border="1"> <thead> <tr> <th>品 種 名</th> <th>生育日数</th> <th>1a 当収量</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>Early Runner</td> <td>142</td> <td>1,444kg</td> </tr> <tr> <td>Dixie Runner</td> <td>143</td> <td>1,204</td> </tr> <tr> <td>Imperial white</td> <td>128</td> <td>1,190</td> </tr> <tr> <td>Perita</td> <td>93</td> <td>1,070</td> </tr> <tr> <td>Colorado San Simon</td> <td>144</td> <td>1,023</td> </tr> <tr> <td>Perlita de Saavedra</td> <td>87</td> <td>956</td> </tr> <tr> <td>Chaucha II</td> <td>145</td> <td>891</td> </tr> <tr> <td>Rayadito</td> <td>141</td> <td>847</td> </tr> <tr> <td>Overo</td> <td>133</td> <td>430</td> </tr> <tr> <td>Criollo Colorado</td> <td>149</td> <td>469</td> </tr> <tr> <td>Criollo Rosado</td> <td>149</td> <td>465</td> </tr> </tbody> </table>	品 種 名	生育日数	1a 当収量	Early Runner	142	1,444kg	Dixie Runner	143	1,204	Imperial white	128	1,190	Perita	93	1,070	Colorado San Simon	144	1,023	Perlita de Saavedra	87	956	Chaucha II	145	891	Rayadito	141	847	Overo	133	430	Criollo Colorado	149	469	Criollo Rosado	149	465
品 種 名	生育日数		1a 当収量																																				
Early Runner	142	1,444kg																																					
Dixie Runner	143	1,204																																					
Imperial white	128	1,190																																					
Perita	93	1,070																																					
Colorado San Simon	144	1,023																																					
Perlita de Saavedra	87	956																																					
Chaucha II	145	891																																					
Rayadito	141	847																																					
Overo	133	430																																					
Criollo Colorado	149	469																																					
Criollo Rosado	149	465																																					
供試品種	Early Runner Rayadito, Overo, Imperial white, Criollo Rosado, Criollo Colorado, Colorado San Simon, Perlita, Perla de Saavedra																																						
試験区面積及び区制	10m×0.75×3×9種=202㎡																																						
栽植方法	0.75m×0.45m 点播 播種10月																																						
管理方法	適宜除草																																						
収穫調整方法																																							
調査事項及び方法	開花期、収穫期、殻付重量、子実重量、子実100粒重 子実の色																																						

試験名	ジュート品種試験	継経又は関連の場合前年度までに実施済の試験についての結果概要	ジュート繊維採取過程の研究に同じ
試験の目的	繊維が良質多収の品種を選出する。		
試験期間	試験期間 第1回 再継続 第1年度 Pakistan 1他11種	受入国研究機関において本試験又は類似試験を実施したことの有無及びその結果の概要	Saavedraの農事試験場は雨量少なく満足な試験が出来ないので本月サンフアン試験農場と共同試験を実施する。
供試品種			
試験区面積及び区制	12m×7m×4区=336㎡		
栽植方法	畦巾0.30m条播		
管理方法	適宜除草 間引き		
収穫調整方法	刈取、浸水、洗蓆乾燥		
	草丈 茎径、生茎重量、精製繊維重量		
調査事項及び方法			

試験名	ジュート繊維採取過程の調査研究	継続又は関連の場合前年度までに実施済の試験についての結果概要	生葵-精製繊維 重質歩留 3.4%
試験の目的	ジュート繊維を採取するための生皮の制皮、浸水洗滌又は生皮を乾燥して後に浸水洗滌する方法等の比較調査研究。		ha当精製繊維 1.6トン ha当間引~精製繊維仕上迄労力 554人
試験期間	試験期間 第1回 再継続 第1年度 Salimo	受入国研究機関において本試験又は類似試験を実施したことの有無及びその結果の概要	Saavedra に在る農事試験場成績
供試品種			品種 Corchorus Capsularis 収量 精製繊維 1,500kg
試験区面積及び区制	0.5 ha		
栽植方法	畦巾 0.40m 条播		
管理方法	適宜除草 間引き		
収穫調整方法	収穫してそのまま浸水、制皮して浸水、剥皮乾燥後に浸水の別について		
調査事項及び方法	作業別所要労力、繊維の品質等。		

サンタクルス支部サンフアン農場

昭和41年度

試 験 名	七島蘭の栽培試験	継経又は関連の 場合前年度まで に実施済の試験 についての結果 概要	な し
試 験 の 目 的	莫 産等敷物材料として七島蘭の栽培適否を知る。		
試 験 期 間	試験期間 第1回 継続 第1年度		
供 試 品 種	不 明	受入国研究機関 において本試験 又は類似試験を 実施したことの 有無及びその結 果の概要	な し
試 験 区 面 積 及 び 区 制	0.05 ha		
栽 植 方 法	水田に挿植 12月 0.20m × 0.20m		
管 理 方 法	除草1回 害虫発生の際駆除		
収 穫 調 整 方 法	五月頃刈取、日干		
調 査 事 項 及 び 方 法	収穫、生茎重、干茎重、品質		

試験名	牧草品種試験	経緯又は関連の場合前年度までに実施済の試験についての結果概要	なし
試験の目的	生草の収量多く、特に耐旱、耐寒、耐温性のある牧草を夫々選出する。		
試験期間	試験期間 第1回 継続 第1年度		
供試品種	Pamico Verde Kudzu Tropicale Atro Glycine Desmodium uncianatum, Desmodium intertum Lotononis, Etylosants, Kazungulu setaria 他	受入国研究機関において本試験又は類似試験を実施したことの有無及びその結果の概要	湿地向きには Setaria 及び Kudzu <sup>1</sup> がよい。 砂質地には Etylosantes がよい。
試験区面積及び区制	11種の組合せ混播区 3,000 m <sup>2</sup> 代表6種の比較区 3,000 m <sup>2</sup>		
栽植方法	散播		
管理方法	雑草は丈15cmで刈る。 但し、Lablabのみ除草する。		
収穫調整方法			
調査事項及び方法	繁茂状況、開花期、結果期、根瘤菌の附着状況等		

昭和41年度

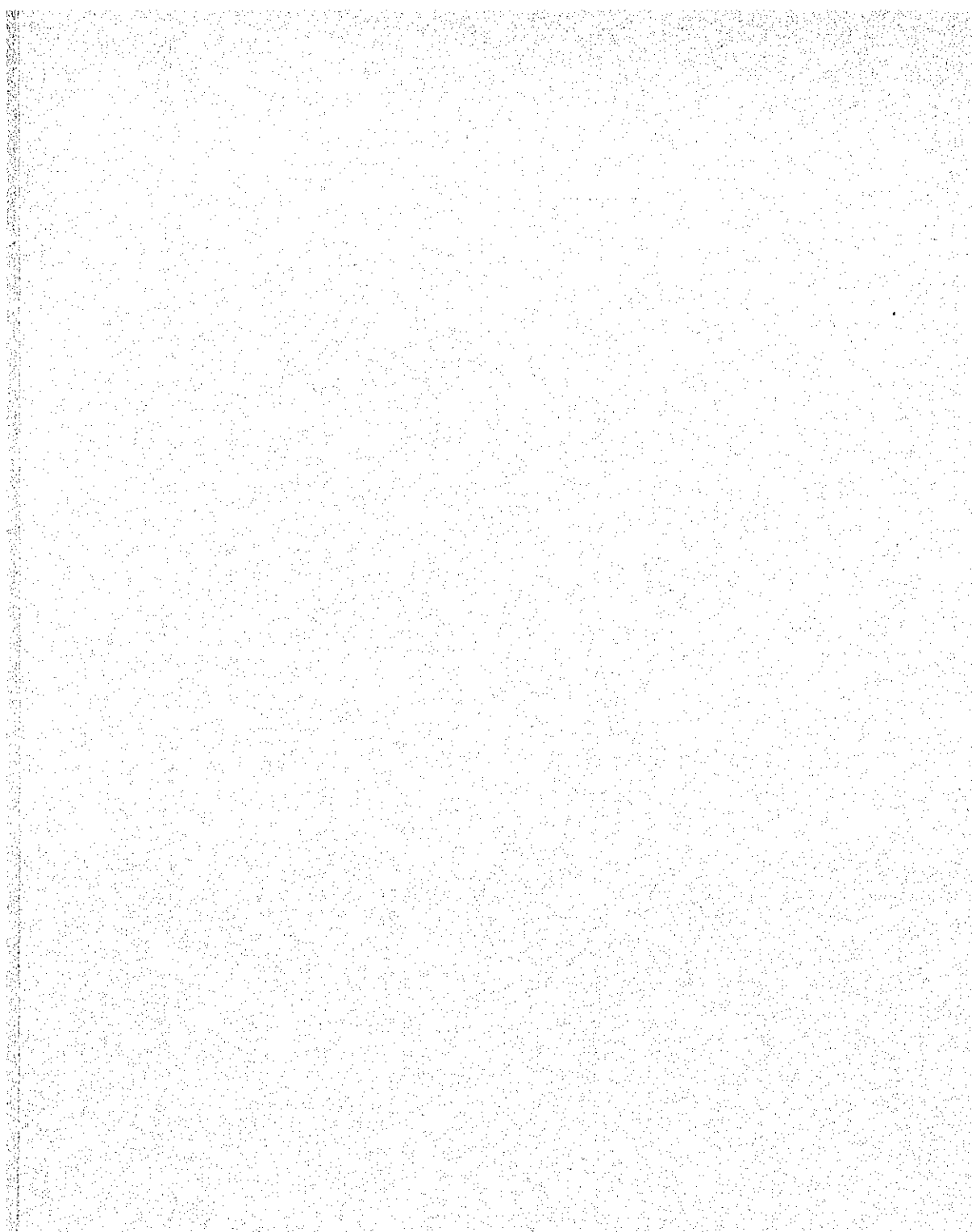
サンタクルス支部サンフアン農場

試験名	家畜に関する試験	継経又は関連の場合前年度までに実施済の試験についての結果概要
試験の目的	豚、鶏について飼料と仔畜産及び産卵数の関係を調査する。	
試験期間	試験期間 第1回 継続 第2年度	受入国研究機関において本試験又は類似試験を実施したことの有無及びその結果の概要
供試品種	豚：ジュロツクジャー、パークシャー 鶏：ニューハンプシャー、レグホーン	
試験区面積及び区制	豚：ジュロツクジャー 8.1 ♀2 パークシャー 8.1 ♀1 鶏：ニューハンプシャー14羽、レグホーン14羽	
栽種方法		
管理方法		
収獲調整方法		
調査事項及び方法	給飼の種類及び量 仔畜の生産と生育 産卵数	



試 験 名	農薬に関する試験
試 験 の 目 的	除草剤及び殺虫剤の種類と効果を知る。
試 験 期 間	試験期間 第1回 継続 第1年度
供 試 品 種	除草剤：Surcopur 殺虫剤：Thimet, Phostoxin
試 験 区 面 積 及 び 区 制	除草剤は陸稲の雑草を対象として 殺虫剤は Thimet はカメムシ、グサノミリクール # Phostoxin は穀物の害虫を対象として
栽 植 方 法	
管 理 方 法	Surcopur は稲の生育初期に噴霧する。 Phostoxin は稲、マイスの害虫に対してドラム缶に封入する。
収 穫 調 正 方 法	
調 査 事 項 及 び 方 法	薬剤の使用量、濃度等 効果判定は肉眼による。

経緯又は関連の 場合前年度まで に実施済の試験 についての結果 概要	
受入国研究機関 において本試験 又は類似試験を 実施したことの 有無及びその結 果の概要	



# 附 記

営農普及活動実施報告書

サンタクルス支部サンフアン農場

第26表

昭和41年10月現在

月別	普及指導事項	普及の方法	対象地区名又は	対 象 件 数
			グループ名	実 施 回 数
6	大豆、ジュートの栽培	講習会	営農連絡会	1
7	鶏の病気と治療	"	"	1
7	農産物品評会	展 示	入植10周年祭	1
8	陸稲の栽培	講習会	営農連絡会	1
9	除草剤その他	"	"	1
9	牧草栽培	パンフレット配布	全 地 区	1

(註) 巡回して行つた個別指導は省く。

成 果			摘 要
当 初 目 標	実現した成果	実現出来なかつた要因	
大豆の増殖	大豆種子の配布増加		ブエナビスタ普及所協力
養鶏知識の向上			
農産物の増産 品質の向上	出品51点 30名		
適期栽培の奨励			
除草費の節減	薬価の照合増加		
牧草の植付奨励	牧草苗の配布増加		

営農担当者の体制

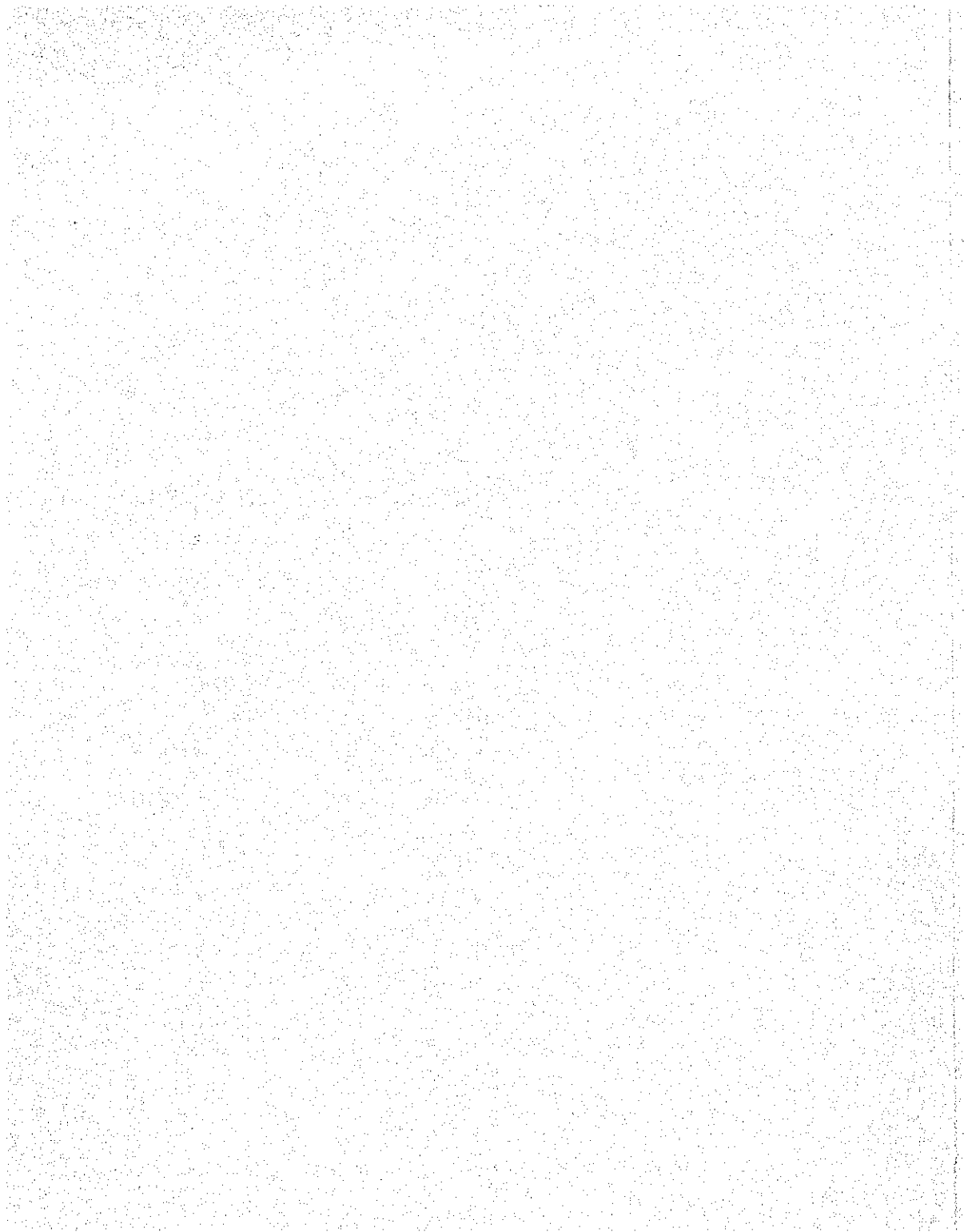
昭和41年10月現在

サンタクルス支部

氏名	所属事業所名	年齢	普及活動経過年数	担当農户数	担当面積	普及上の機動力	摘	要
平野昇一	サンフアン	54	24年(21年)	250	13,000ha	ジーブ	試験農場勤務	

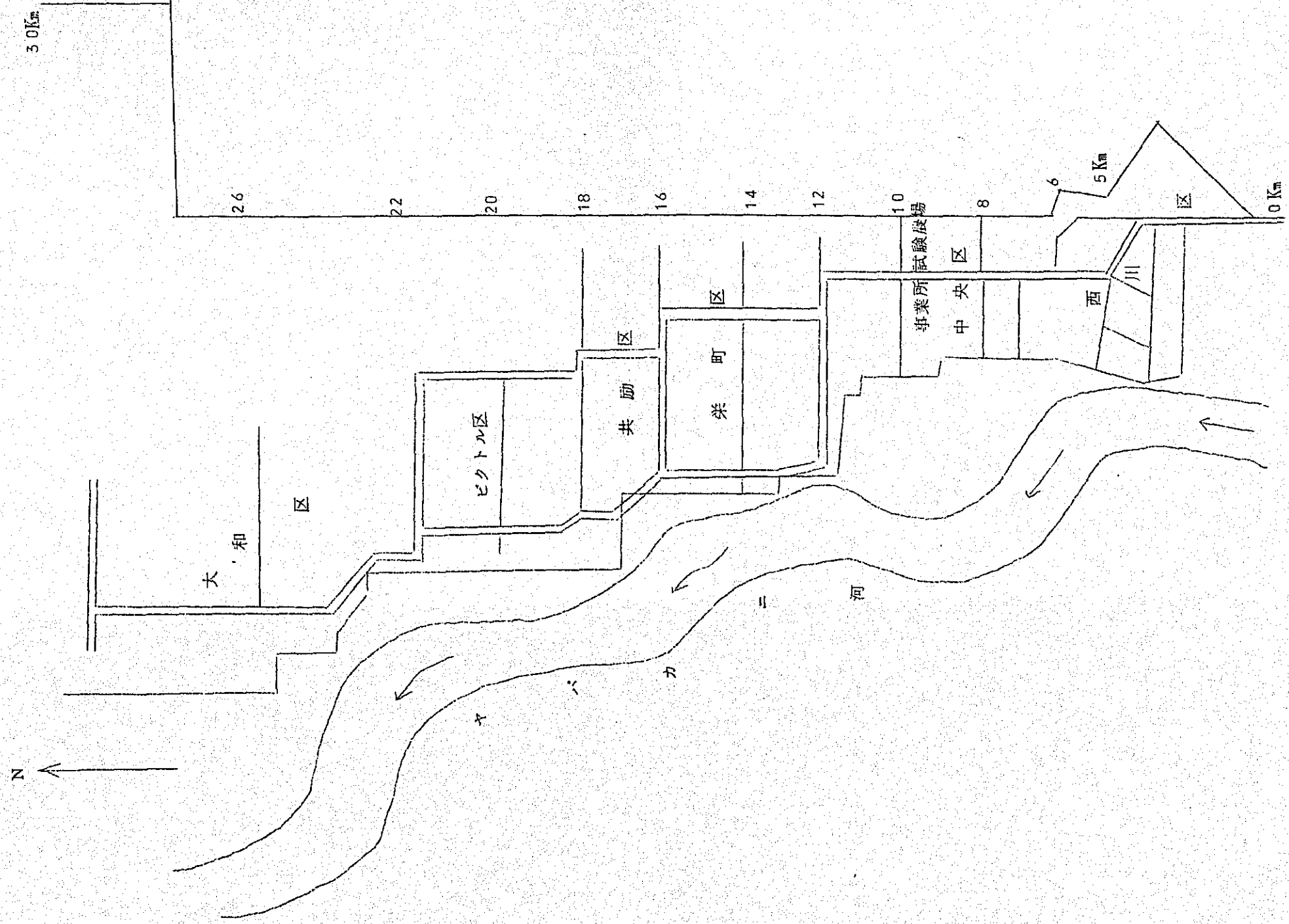
## 普及活動上の反省と所感

1. 作柄調査等で巡回する場合に道順の都合で立寄る農家が大体決つてしまふ傾きがある。  
今後はこの弊を改めるようにしたい。
2. 家畜飼育頭羽数と自給飼料生産計画がマッチしていない農家が多い。  
今後はパンフレットにより又は個別訪問して啓蒙指導を行いたい。
3. 移住地営農の最終目標は牧畜と米作であるとの大前提に立ち、米作跡地の再生林化を防止するため牧草を植えることの奨励が足りなかつたと思う。  
今後は牧草の植付けを指導奨励すると共に米作と牧草の輪換作を考えて地力維持のため禾本科以外に豆科の牧草の導入試験に努力すべきである。
4. 家畜の飼育意欲がようやく旺盛になりつゝあるが、指導に当る専門知識に乏しいうらみがあつた。  
11月から畜産専門技師の配置があるからこの補いに努力したい。
5. 移住地の自然、経済環境から見て肉牛の飼育が営農安定のための一つの柱であると思われるが、現在飼われているものは在来種であるから優良種牛を入れて改良を図りたい。このため試験農場に牧場を造成して種牛購入の予算を要求したので承認願いたい。
6. 肉牛飼育の場合に牧草の種類、面積と飼育頭数の関係を知り併せて生産される仔畜を一般に配布して優良牛の普及増殖を図るため牧場経営実験農家設置費を要求しているが何分の配慮を願いたい。
7. 農家50haの配分地を有効に活用するため単位面積当収量の多い水田を造成するための開田試験費及び開田実験農家の設置費を要求しているが一般にも水田造成の気運が興つていふことでもあるから早急にその指導の資料を得るためこの予算を承認願いたい。

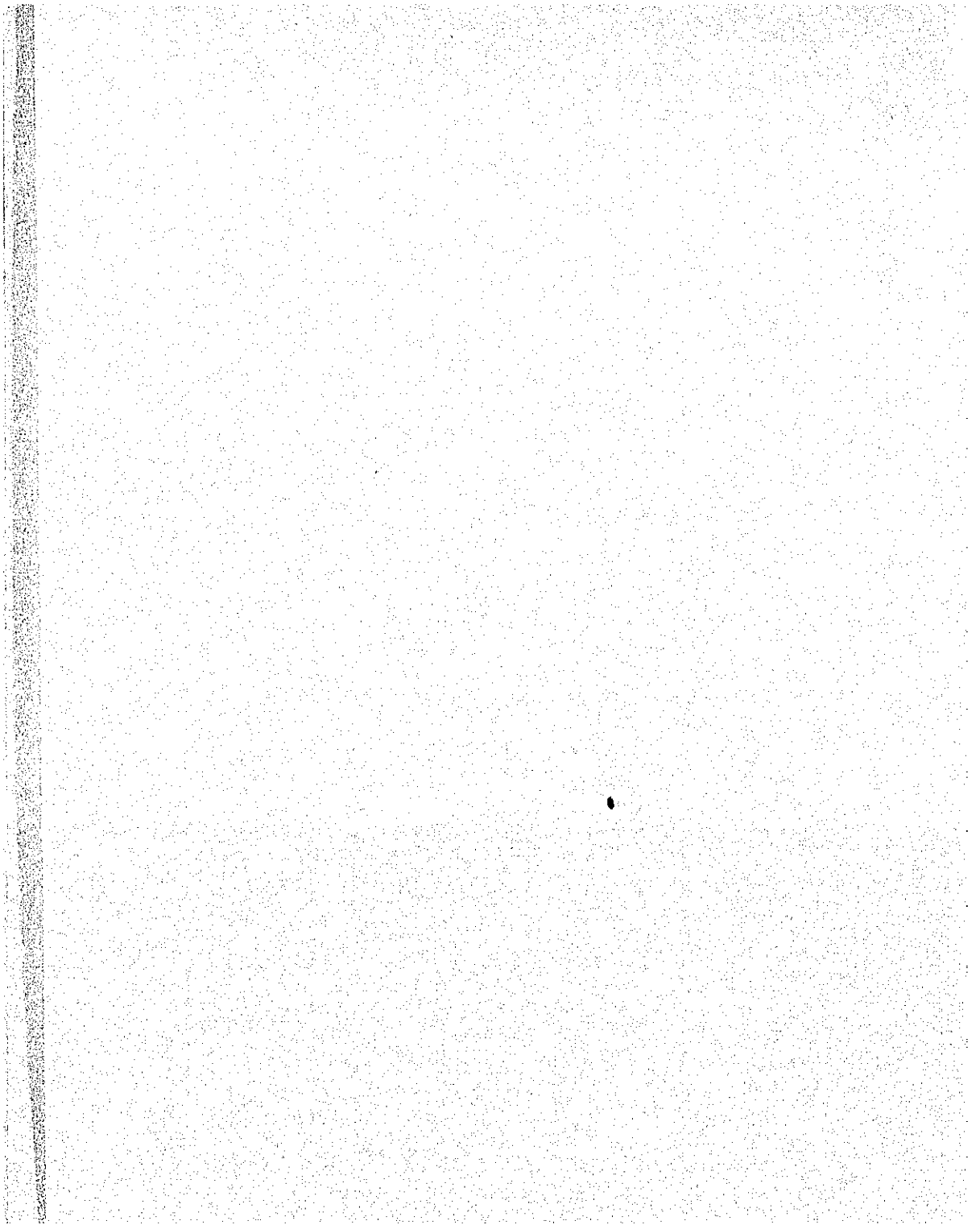


官段普及担当区域略図

様式 6







米の品種試験成績書 (第5年度)

昭和41年10月

サンタクルス支部サンフアン農場

<p>試験目的</p>	<p>多収、良質で耐病性の品種を選出する。</p>
<p>試験方法                  (1) 供試品種                  (2) 1区面積及び区制                  (3) 畝間距離                  (4) 播種期及び播種方法                  (5) 管理作業                  1 除草                  2 薬剤散布                  3 収穫                  4 その他                  (6) 供試圃                  1 土壌                  2 前作</p>	<p>Pratao 外23種                  10m × 1m = 10㎡ 1区                  畦 1m                  10月14日 条播                  11月17日 12月9日                  1月19日～3月2日                  培土 12月18日                  砂漿土                  休閑</p>
<p>気象概況と生育</p>	<p>生育初期は低温多雨であつたが、その後天候は持ち直して病虫害の発生殆んどなく、平年作と見られる成績であつた。</p>
<p>試験成績及び考察</p>	<p>日本種では「みなみ、はなもち」と台中65号が収量多く現地種の大粒種で収量の多いのはCeteto と Venezuelaである。</p>
<p>摘要</p>	<p></p>
<p>本年度の反省と問題点並びに明年度の予定</p>	<p>品種別の特性は大体把握出来たから後1年継続試験して保存品種を決定し他は整理したい。</p>
<p>附表</p>	<p>別添</p>
<p>(1) 半旬別収量表                  (2) その他                  試験担当者氏名                  測定、試験上の他機関との協力体制</p>	<p>平野 昇</p>

水田予備試験成績書 (第1年度)

昭和41年10月

サナンタルス支部サナン試験場

試験目的	水稲品種及び陸稲品種を水田に栽培して水田作の場合の資料を得る。
試験方法	台中65号 他7種 0.30m×0.24m×1.00株=7.2㎡ 1区 0.30×0.24 播種 11月16日 挿 12月10日 1本植 12月27日 BHC撤布 1月28日 2月11日 3月3日~3月24日 基肥 ha当換算尿素 60kg 砂壌土 水稲 気象平年並で生育は良好であった。
試験成績及び考察	日本種では台中65号が収量多く現地種ではCateetoが多い。Prataoは早生種であるが、水田作に適すると見られる。
備考	
本年度の反省と問題点並びに明年の予定	
附表	別添
(1) 半旬別気象表	
(2) その他	
試験担当者氏名	平野昇一
測定、試験上の他機関との協力体制	なし

バナナ収穫時期調節試験成績報告書 (第2年度)

昭和41年10月

サンタクルス支部サンフランシスコ

試験目的	8-10月は料理バナナが高値であるので、その時期に出荷できるように植付及び苗立の時期の研究を行う。
試験方法	在来料理用種 3.5 m × 3.5 m × 5 = 6.1 m <sup>2</sup> 12区 3.5 m × 3.5 m 毎月中旬に植付
(1) 供試品種	適宜
(2) 1区面積及び区制	なし
(3) 栽植距離	適宜熟度を見て行う。
(4) 播種期及び播種方法	無肥料栽培
(5) 管理作業	砂壤土
イ 除草	陰播
ロ 薬剤散布	
ハ 収穫	
ニ その他	
(6) 供試圃	
イ 土質	
ロ 前作	
気象概況と生育	
試験成績及び考察	定植後、1年2月~1年7月を要して収穫を見ている。 7月~1月迄に定植したものは8月~10月に収穫出来ない。
摘要	毎月定植する場合に供試圃の地力等変化して植付時の条件が同一でなくなることが問題である。
本年販の反省と問題点並びに明年度の予定	
附表	別添
(1) 半旬別気象表	
(2) その他	
試験担当者氏名	平野 昇
測定、試験上の他機関との協力体制	なし

柑 橘 品 種 試 験 成 績 書 (第 6 年 度)

サンタクルス支部サンフアン農場

昭和 4 1 年 1 0 月

試 験 目 的	優良な柑橘品種を選出する。
試 験 方 法	
(1) 供試品種	ポンカン、タンカン、晩白柚
(2) 1区面積及び区制	5 m × 5 m × 1 0 = 2 5 0 m <sup>2</sup>
(3) 栽植距離	5 m × 5 m
(4) 播種期及び播種方法	昭和 3 5 年
(5) 管理作業	適宜
イ 除草	
ロ 薬剤撤布	
ハ 収穫	ポンカン 4 月、タンカン 5 月 晩白柚 周年
ニ その他	施肥 8 月
(6) 供試圃	砂野土
イ 土壌	
ロ 前作	
気 象 概 況 と 生 育	
試 験 成 績 及 び 考 察	ポンカン、タンカンは収量は相当にあるが、味が淡白である。 晩白柚は年中結実している。
摘 要	
本年度の反省と問題点並びて明年要の予定	味が淡白なことが気候によるものであれば将来性は少ない。
附 表	別 添
(1) 半旬別気象表	
(2) その他	
試 験 担 当 者 氏 名	平 野 昇 一
測定、試験上の他機関との商貨体制	なし

コーヒー一株当植付本教試験成績書 (第6年度)

昭和41年10月

サンタクルス支部サンブアン農場

試験目的	コーヒーの1株当適当な植付本数を知る
試験方法	
(1) 供試品種	アラビア種 Mundo Nuevo
(2) 1区面積及び区制	4m × 4m × 50 = 300㎡ 4区
(3) 栽植距離	4m × 4m
(4) 播種期及び播種方法	昭和35年定植
(5) 管理作業	適直
イ 除草	3月~4月
ロ 薬剤撤布	無肥料栽培
ハ 刈獲	砂糞土
ニ その他	
(6) 供試圃	
イ 土壌	
ロ 前作	
気象概況と生育	枝枯れ多く収量減少
試験成績及び考察	肥料分の欠乏と見られる
摘 要	
本年度の反省と問題点並びに明年度の予定	定植6年で肥料分の欠乏を来すとすれば同地地質の地帯には栽培すべきでない。明年度施肥してその経済効果を見たい。
附表	別 添
(1) 半旬別気象表	
(2) その他	
試験担当者氏名	平野 昇
補定、試験上の地帯別との協力体制	なし

ビメンタ栽培試験成績書 (第2年度)

昭和41年10月

サントクス支部サンブアン農場

試験目的	ビメンタの栽培適否を知る
試験方法	
(1) 供試品種	ブラジルから導入のもの
(2) 1区面積及び区制	3.0 m × 2.5 m × 15.0 = 1, 12.5 ㎡
(3) 栽植距離	3.0 m × 2.5 m
(4) 播種期及び播種方法	昭和39年3月13日
(5) 管理作業	
イ 除草	適直
ロ 薬剤散布	ホリドール噴霧 (カイガラ虫)
ハ 収穫	9月~3月
ニ その他	施肥10月及び2月 配合肥料各0.5t/区 全面撒草
(6) 供試圃	
イ 土壌	砂壤土
ロ 前作	
気象概況と生育	生育は割合良好とみられるが、低温乾燥期に幼樹が枯死した。
試験成績及び考察	3回の収穫合計で1本黒胡椒200gのものもあるが果房の着粒は粗である。
摘 要	
本年度の反省と問題点並びに明年の予定	低温乾燥に抵抗力が弱いようである。
附表	別添
(1) 半旬別気象表	
(2) その他	
試験担当者氏名	平野 昇
部室、試験上の他機関との協力体制	なし

胡麻品種試験成績報告書 (第1年報)

昭和41年10月

サンタクルス支部サンファアイン農場

試験目的	多収、耐病性で含油量の多い品種を選出する。
試験方法	Tehuantepec 1 他8種 12m × 0.75m × 9 = 81㎡ 3区 0.75m × 0.25m 10月16日点種
(1) 供試品種	
(2) 1区面積及び区制	
(3) 栽植距離	
(4) 播種期及び播種方法	
(5) 管理作業	
イ 除草	11月
ロ 薬剤散布	
ハ 収穫	2月26日～3月8日
ニ その他	
(6) 供試圃	開引 11月25日 12月14日 増土 12月17日
イ 土壌	砂壤土
ロ 前作	休閑
気象状況と生育	雨季の栽培になるので湿害の散が見えた。
試験成績及び考察	Instituto 104が収量が多い。
摘 要	
本年蔵の反省と問題点並びに明年度の予定	排水良好の地に作る必要がある。
附 添	別 添
(1) 半旬別収量表	
(2) その他	
試験担当者氏名	平 野 昇
測定、試験上の他機関との協力体制	種子は日本種を除いてSuaavedra の農事試験場寄贈である。



落花生品種試験成績報告書（第1年度）

昭和41年10月

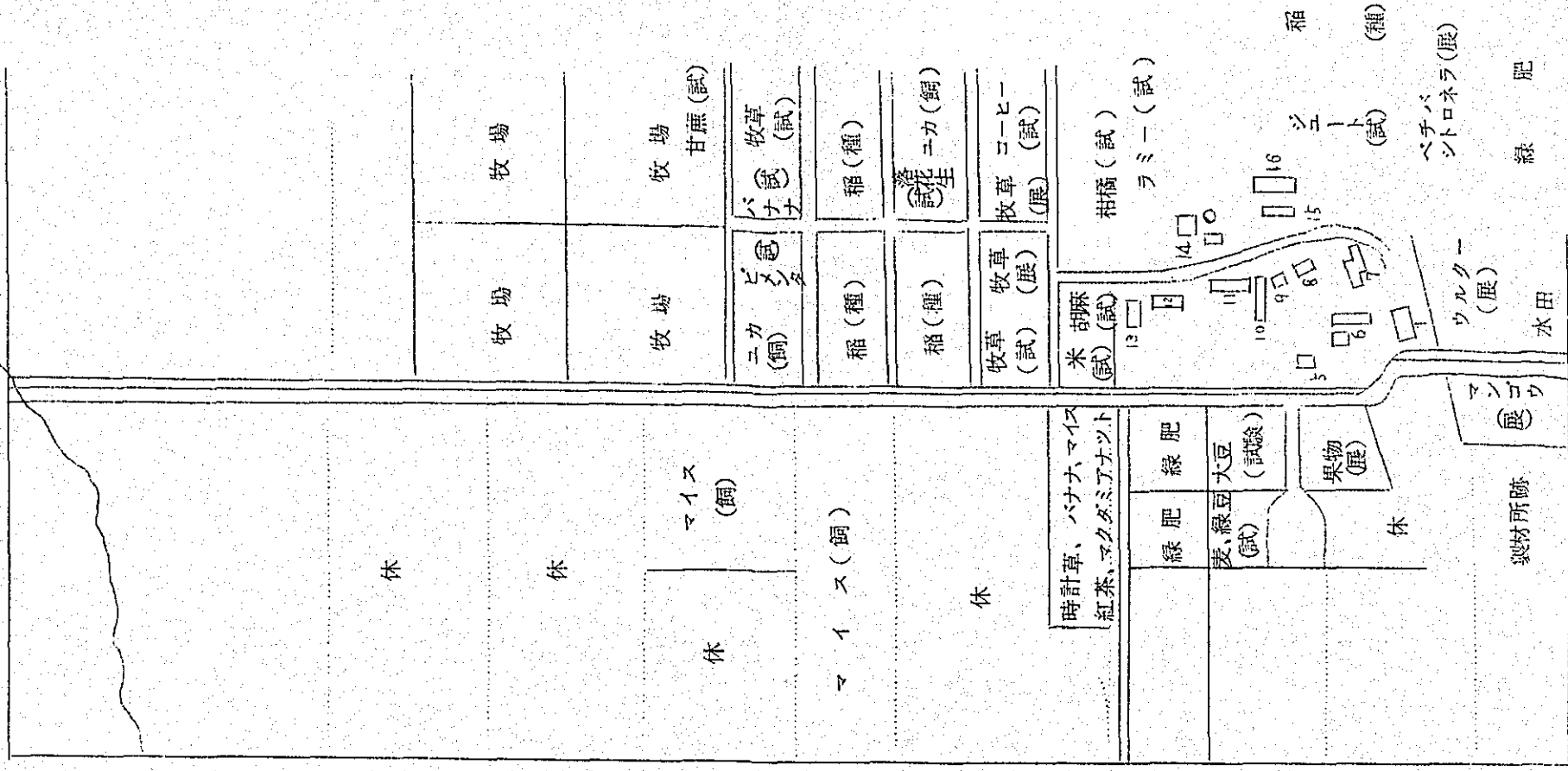
サントクス支部サンフアン農場

試験目的	多収、耐病性で含油量の多い品種を選出する。
試験方法	Early Runner 他8種 12m×0.75m×9=81m <sup>2</sup> 3区 0.75m×0.45m 10月13日 点播 2粒宛
(1) 供試品種	
(2) 1区面積及び区制	
(3) 栽植距離	
(4) 播種期及び播種方法	
(5) 管理作業	適宜
イ 除草	
ロ 薬剤散布	
ハ 収穫	3月5日～4月11日
ニ その他	
(6) 供試圃	砂壤土
イ 土製	休閑
ロ 前作	
気象概況と生育	雨季栽培であるため湿害のおそれがある。
試験成績及び考察	Imperial white が収量が早い。
摘 要	
本年産の反省と問題点並びて明年度の予定	排水良好の地を作る必要がある。
附 表	別 添
(1) 半旬別気象表	
(2) その他	
試験担当者氏名	平 野 昇 一
測定、試験上の他機関との協力体制	種子は全部 Saavedra の農事試験場寄贈である。

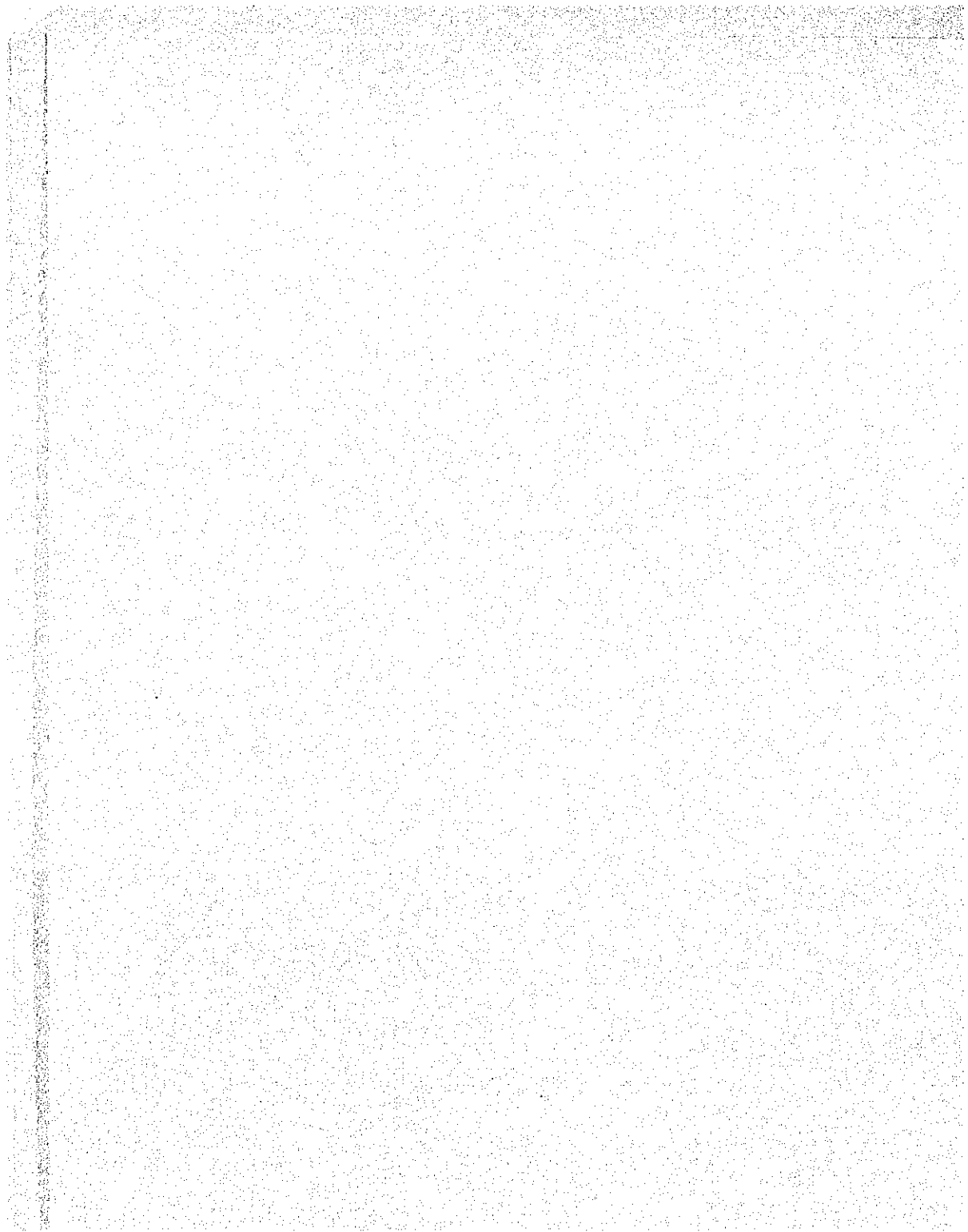
サンフランテスト農場略図

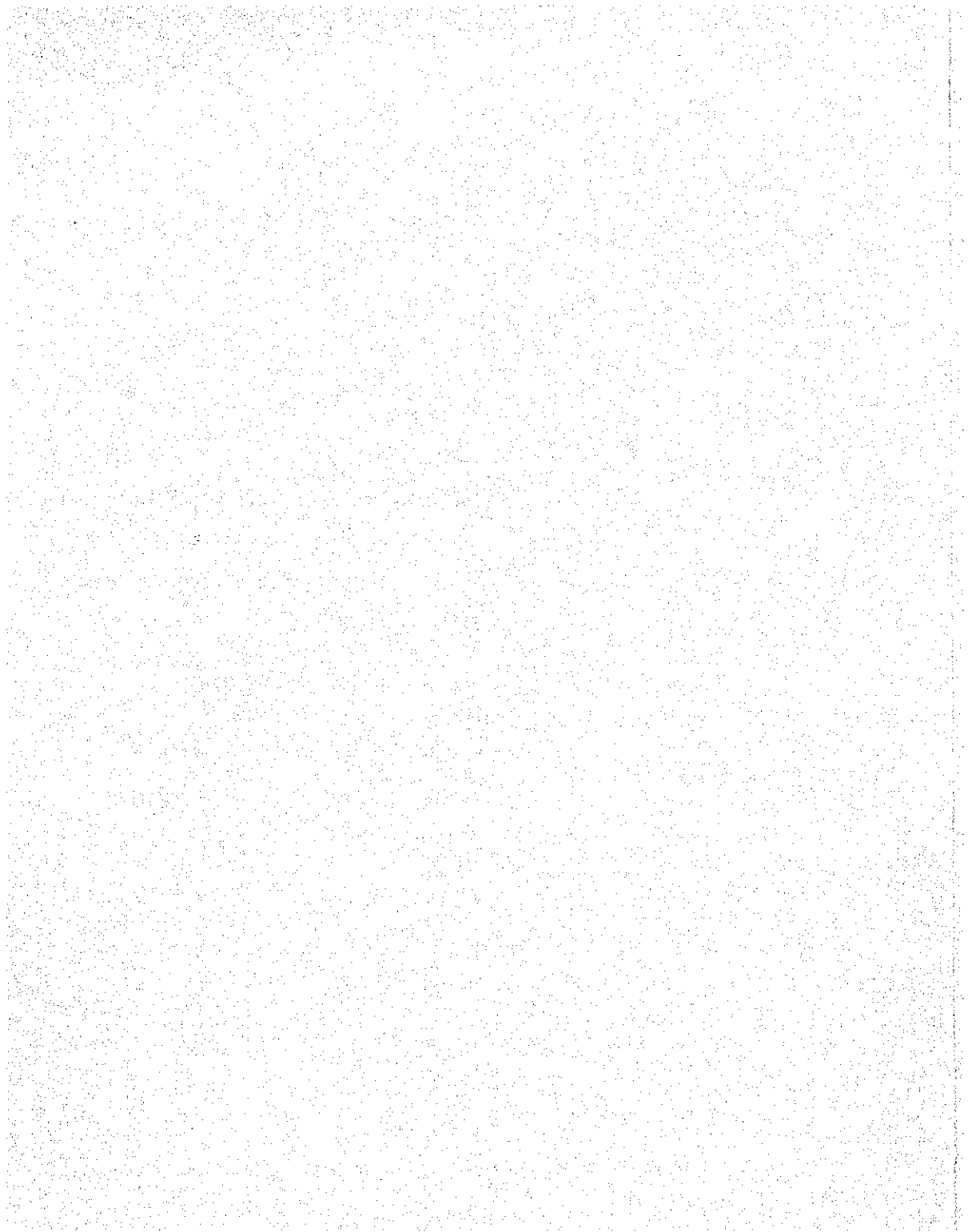
昭和41年度  
試験展示試作等配置図

1/4,000



凡	例
1	事務所
2	宿舎
3	乾燥
4	倉庫
5	宿舎
6	倉庫
7	宿舎
8	旧豚舎
9	堆肥舎
10	車庫
11	倉庫
12	機械置場
13	整備場
14	給水施設
15	鶏舎
16	豚舎





展示・試作・種苗・飼

料及び牧草圃設計書

サンタクルス支部サンフアン農場

昭和41年度

作物名	事項	品 種 名	入 手 先	(又は本数) 植 栽 面 積	植 栽 年 間	栽 培 目 的
展 示		マ イ ス	メ キ シ コ	0.050 ha	3年	展 示 用
		ブラジルナツト	ペ ル ー	0.025	3.0	"
		カランボラ	"	0.025	2.0	"
		ペカン	ブラジル	0.025	3.0	"
		チエリモヤ	現 地	0.025	2.0	"
		パンノキ	ペ ル ー	0.025	3.0	"
		アカダミア、ナツト	ハ ワ イ	0.025	3.0	"
		ココ椰子	ベ ニ ー	0.050	3.0	"
		油椰子	"	0.050	3.0	"
		Guapuru'	現 地	0.010	2.0	"
		日本柿	ブラジル	0.010	3.0	"
		日本梨	"	0.010	3.0	"
		時計草	"	0.010	5	"
		マンゴウ	"	0.200	3.0	"
		ウルター	"	0.200	2.0	"
		パラゴム	"	10 本	2.0	"
		藩石榴	"	0.025	2.0	"
		牧草メルケロン	"	0.200	5	"
		" バンゴラ	"	0.200	5	"
		" エチロサンテス	"	0.200	5	"
		緑肥クロダリア、スツタピリス	"	0.020	1	"
		" クロクラリア、ジュンヤア	"	0.020	1	"

作物名	事項	品 種 名	入 手 先	
試 作		緑肥テフロシア	ブラジル	
		// フェションガンドー	"	
		ベチバ	"	
		シトマネラ	"	
		カカオ	ベニー	
		アバカ	ブラジル	
		印度蛇木	日 本	
		紅 茶	ブラジル	
		甘蔗 160.3.10	日 本	
		エンサイ	"	
		バニラ	ブラジル	
		ハイアツプル スムースカイエン	"	
		ラミー	日 本	
		小 麦	ブラジル	
		緑 豆	日 本	
種 苗		吐 根	ベニー	
		日本茶	日 本	
		大 豆	"	
		米 Cateto	ブラジル	
		// Blue Bonmet	モンテローロ	
		// 台中 65号	ブラジル	
		// 美欄	日 本	
	飼 料		マイス	現 地
			ユ カ	"

(又は本数) 植 栽 面 積	植 栽 年 間	栽 培 目 的
0.020 ha	1年	展 示 用
0.020	1	"
0.200	5	"
0.200	5	"
0.010	10	試 作 用
0.100	5	"
0.001	5	"
0.010	20	"
0.100	5	"
0.010	5	"
10	5	"
0.010	5	"
0.010	5	"
0.010	5	"
0.010	5	"
5 本	5	"
0.010	20	"
0.200	1	種 苗 配 布 用
1.000	1	"
0.500	1	"
0.200	1	"
0.100	1	"
2.000	1	飼 料 用
0.500	1	"

作物名	事項	品 種 名	入 手 先
牧	草	ヤラガ	現 地
		コロニオン	"
		メルケロン	"
		ゴルドウーラ	"

(又は本教) 植 栽 面 積	積 栽 年 間	栽 培 目 的
1 0 0 0 h a	5 年	牧 場 造 成
1 0 0 0	5 年	"
1 0 0 0	5 年	"
1 0 0 0	5 年	"

サンフアン農場の

年月日	試験事項
昭37年度	小麦に関する試験
	陸稲に関する試験
	ジュート及びケナフに関する試験
昭38年度	稲の試験
	小麦の試験
	トウモロコシの試験
	大豆の試験
	緑豆の試験
	パイナップルの試験
	柑橘の試験
	コーヒーの試験
	カカオの品種試験
	ビメンタの試験
	薬用植物の試験
昭39年度	稲の試験
	大豆の試験
	コーヒーの試験

主な試験成績

試験内容	担当者	摘要
1. 小麦の播種時期試験	寺神戸	
2. 小麦栽培の機械について	"	
1. 陸稲栽培の機械化について	"	
2. 機械化稲作における畝巾について	"	
3. 稲刈とその後処理方法について	"	
4. 「台中65号」の水田栽培について	"	
1. ジュート生産に関する試験	"	
2. ジュートの播種時期と生長に関する試験	"	
3. ジュートのラミー剥皮試験	"	
4. ケナフの播種時期と生長に関する試験	"	
品種別比較試験	平野、寺神戸	
"	"	
"	"	
"	"	
播種適期試験	"	
ホルモンによる収穫期調節試験	"	
優良品種選定試験	"	
適植付本数について	"	
優良品種選定試験	"	
ビメンタの栽培適否について	"	
適薬草の選定	"	
品種別比較試験	"	経 緯
"	"	"
適植付本数について	"	"



年 月 日	試 験 事 項	試 験 内 容	担 担 者	摘 要
昭 3 9 年 度	馬鈴薯の試験	試 作	平野、寺神戸	新 規
	稲の除草について	各種除草剤の効果について	"	新 規
	ビメンタの試験	ビメンタの栽培適否について	"	経 継
	カカオの試験	優良品種選定試験	"	"
昭 4 0 年 度	柑橘の試験	"	"	"
	稲の試験	品種別比較試験	平 野	経 継
	トウモロコシの試験	"	"	"
	大豆の試験	"	"	"
	緑豆の試験	播種適期試験	"	"
	パイナップルの試験	ホルモンによる収穫期調節試験	"	"
	バナナの試験	収穫時期の調節について	"	"
	柑橘の試験	優良品種選定試験	"	経 継
	コーヒーの試験	適植付本数について	"	"
	ビメンタの試験	ビメンタの栽培について	"	"
	胡麻の試験	優良品種選定試験	"	新 規
	落花生の試験	"	"	"

(註) 試験成績は追つてとりまとめ発刊の予定

現在農場で栽培している作物

和名	現地名	学名
米	Arroz	Oriza sativa L.

昭和40年現在

サンフアン試験農場

品 種	入手先	試験目的	栽培状況	植物の能力
Amarelon	Brasil	優良種選出	試験中	
Venezuela	"	"	"	収量大
Perola	"	"	"	
Pratao	"	"	"	早生、品質良
Noventa dia Branco	"	"	"	
Iguape'	"	"	"	
V-No3	"	"	"	
No13 7-V-8	"	"	"	
台中 65号	ブラジル	"	"	品質良 耐病性
Noventa dia Colorado	Bolivia	"	"	
Dourads	"	"	"	収量大
Foituns	"	"	"	
Sun Bonnet	"	"	"	
356 S/N	"	"	"	
Lecrosse	"	"	"	
435 S/N	"	"	"	
Cateto	"	"	"	収量大
Palo Morado	"	"	"	
農林 11号	日本	"	"	
農林 21号	"	"	"	
農林欄 25号	"	"	"	
みなみはたもち	"	"	"	

大豆	Soya	<i>Glycine max merrill</i>
小麦	Trigo	<i>Triticum vulgare Vill</i>
トウモロコシ	maiz'	<i>Zea mays L.</i>
緑豆	なし	<i>Phaseolus radiatus L var typicus plain</i>
ボンカン	Ponkan	<i>Citrus reticulata Blanco</i>
タンカン	Tankan	<i>Citrus tankan Hayata</i>
晩白柚	Banpeyu	<i>C. grandis Osbeck var "Banpeyu"</i>
ナランハ・デニア	Naranja de Bahia	<i>Citrus spp</i>
小実果物時計草	Pasionaria	<i>Passiflora edulis L</i>
枇杷		<i>Eriobotrya japonica Linll</i>
波羅蜜		<i>Artocarpus integra merr</i>
ばんのき	Arbol de Pan	<i>Artocarpus communis Forst</i>
バナナ	Banana	<i>Musa paradisiaca L</i>

バナナ		<i>M. Cavendishu' Lamb</i>
バナナ		<i>M. sapientum L</i>
パパヤ	Papaya	<i>Carica Papaya L</i>
パイナップル	Pina	<i>Ananas comosus (L) merr</i>
チエリモヤ	Chirimoya	<i>Anana cherimola mill</i>
五斂子	Carambola	<i>Averrhoa carambola L.</i>
ペカン	Pecan	<i>Caria Pecan Engler et Graeb</i>
マンゴウ	Mango	<i>Mangifera indica L</i>
柿	Kaki	<i>Diospyros Kaki</i> <i>L.F. var domertica M</i>
葡萄	Vid	<i>Vistis vinifera L</i>
カカオ	Cacao	<i>Theobroma cacao L.</i>
コーヒー	Cafe'	<i>Coffea arabica L</i>
バニラ	Vanilla	<i>Vanilla planifolia Andr.</i>
胡椒	Pimenta	<i>Piper nigrum L</i>
甘蔗	Cana de azucar	<i>Sacchrum officinarum L</i>
茶	Te'	<i>Tea sinensis (L) Sims.</i>
油椰子	Palmera aceitera	<i>Elaeis guinensis Tacg</i>
ベトノキ	Urucu'	<i>Bixa orellana L.</i>
ココ椰子	Coco	<i>Cocos nucifera L.</i>
ブラジルナツト	Castana	<i>Bertholletia exselsa Humb.</i>
パラゴム	Hevea	<i>Hevea brasiliensis Muell Arg.</i>
黄麻	Yute	<i>Corchorus capsularis L.</i>
		<i>C. olitorius L</i>
ケナフ	Kenaf	<i>Hibiscus cannabinus L.</i>
苧麻	Lamis	<i>Boehmeria nivea Hookes et arnott</i>
ローゼル	Roselle	<i>Musa textilis Nec.</i>
マニラ麻	Abaca	<i>Gossypium spp.</i>

三沢バナナ	Bolivia		品種保存	
小笠原種	"		"	
	"		"	
在来種	"	収穫期調節	試験中	
	"		品種保存	
	"		"	
在来種	Brasil	適 否	育苗中	
	Bolivia		品種保存	
	Brasil	適 否	育苗中	
	"		品種保存	
UF 667	Bolivia	優良種選出	試験中	湿害を受け易い
613	"	"	"	"
650	"	"	"	"
221	"	"	"	"
676	"	"	"	"
Mundo Nuevo	Brasil	植付本数	試験中	生育良
	Bolivia	水質品質	"	"
	Brasil	適 否	"	"
NCO 310	日本		品種保存	
	"		"	
	Bolivia	適 否	育苗中	
	"	収 量	試験中	生育良
	"		"	
	"	適 否	育苗中	
	"		品種保存	
	Brasil		品種保存	
	Bolivia		"	
	"		"	
	日本		"	
	Brasil		"	
	"		"	

棉	Algodon	Gossypium spp
印度蛇木		Rauwolfia Serpentina Benth
シトロネラ	Citronella	Cymbopogon nardus (L) Pendle
ベチバ	Vetiver	Vetiver zizanioides(L) Nask.
薄荷	Menta	Menta arvensisL.var. <sup>Vulgaris</sup> Benth
吐根	Ipecacuanha	Cephaelis ipecacuanha <sup>(Brot)A</sup> Rich
ムクナ	Mucuna	Stizolobium deeringianum Bort
インディゴフェラ	Indigofera	Indigofera endecophylla Tagg.
クロタリア	Crotalaria	Crotalaria spectabilis
		C. juncea
テフロシア	Tephrosia	Tephrosia candida DC.
カルポゴニウム	Calupogonium	Calupogonium mucunoides
セントロセマ	Centrocema	Centrocema pubescens Benth
ヤラグア	Yaragua	Hyparrhenia rufa Stapf
コロニオン	Coronion	Panicum maximum Tagg
ゴルドウーラ	Gordura	Melinis Minutiflora Beacev
メルケロン	Merkeron	Pennisetum purpureum Schumach
銀合欵	Chamba	Leucaena glauca Benth
琉球松		Pinus luchuensis Mayer
鳳凰木	Franboyan	Delonix regia Raf
ユーカリ	Eucalipto	Eucaliptus spp
エンサイ		Ipomea aquatica Forsk

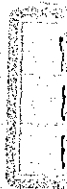
Mexico		品種保存
日本	適否	試験中
Brasil		品種保存
"		"
"		"
Bolivia		育苗中
Bolivia		品種保存
Brasil		"
"		"
"		"
"		"
"		"
Bolivia		"
Brasil		"
Bolivia		"
"		増殖中
Bolivia		品種保存
日本		育苗中
Brasil		観賞中
"		品種保存
日本	適否	増殖中

諸作物導入の実績

年度	作物名	取寄先	
昭34年	山東菜、地蔬菜 10種	日本	
	ヤラグア(yaragua)、バニラ	サンタクルス	
	ムクナ、銀ネムの木	サーベドラ試験場	
	大豆	沖繩移住地	
昭35年	苧麻、甘蔗	日本	
	銀ネムの木、ケナフ	サーベドラ試験場	
	カカオ	SAI普及所	
	コカ	ブエナビスタ	
	インデイゴフエラ、クロタラリア(2種)、カルポゴニウム、根縮菌、蔬菜種子各種、花卉数種、マニラ麻		
	黄麻、棉、ビメンタ、ゴム、セントロセセ、ベチーバ、油ヤシ、コーヒー、ユーカリ、陸稻2種、緑豆、ホーオ	ブラジル	
	一木、晩白柚、ラランジャ、デ・バイヤ、ボンカン、タンカン		
	昭36年	ンカン、小麦、セラニウム、シトロネラ、蓮根、アカシヤネグラ、ペカン、柴蘇、蔬菜各種、陸稻、ユーカリ、ブドウ、柿、椿、つつじ、コロニオン、フエジョンガンドー、ソージャベレネ、ココデバイヤ、ボンカン、タンカン、薄荷	ブラジル

Avanga	Paraguay	優良種選出	試 験 中	
Mogiana	"	"	"	
Mogiana 411	"	"	"	
Abarra	"	"	"	
Eng Brachel	"	"	"	
Pehcano	"	"	"	
Araga Tuba	"	"	"	
Colmena I	"	"	"	
Colmena J	"	"	"	
パラグワイ早生	"	"	"	
パラグワイ晩生	"	"	"	
沖繩早生	サンフアン	"	"	耐病性大
サンフアン早生	"	"	"	
サンフアン晩生	"	"	"	
ビエンビル	沖繩移住地	"	"	
アンダー	"	"	"	
ベリカン	"	"	"	
(A)	Brasil	優良種選出	試 験 中	収量大 耐病性大
P. 12936	"	"	"	
Cubano	Bolivia		品 種 保 存	収 量 大
Amarillo	Brasil	栽培時期	試 験 中	
	Brasil	適 否	試 験 中	
	Brasil	適否試験	試 験 中	生育良好
	"	"	"	"
	"	"	"	"
	日 本	"	"	"
茂 木	"	"	"	"
	Bolivia		品 種 保 存	
	"		"	
料理用種	"	植付時期	試 験 中	

昭37年	陸稻 10 種	サーベドラ試験場
	マンゴー	ブエナビスタ
	陸稻、ジユート 3 種	ブラジル
	カピンコロニオン、ユーカリツトリオドーラ	
昭38年	茶、ショウガ、フキ、琉球松、大麻、インド	日 本
	蛇木、時計草、ビワ、甘蔗、陸稻 4 種、アル	
	フアルファ	コチャバンバ
	大根、茶、ゴム、ブラジルナッツ、油ヤシ、	リベラルタ試験場
	五穀子、チリモヤ、ビリバ、カカオ(2種)	
	Tutuma カカオ	ブエナビスタ
	柑橘、馬鈴薯(農業普及所)	サンタクルス
	センダン	メノニタ
	ビメンタ、カシユーナッツ、ブラジルナッツ、	ブラジル
	麦、ホーオー木、花卉数種	
	大豆 11 種	パラグアイ
昭39年	吐根、カカオ、カシユーナッツ、ブラジルナ	リベラルタ試験場
	ッツ、ゴム、Palmera Aceitera、五穀子、	
	コーヒー、パラミツ(Yaca)、ココナッツ	



L18